

廿三日

黑川

陸軍

特別報告提出ノ件

昭和十七年三月二十七日 第二十二師團長

大城戸三治

陸軍大臣 東條英機殿

左記ノ者ニ對スル首題ノ件別紙ノ通報告

左記

第二十二師團司令部 陸軍備人

支那派 進軍總 司令部 由	昭和十七年四月拾七日
總副報第 七九號	

陸軍大臣
17.5.14

陸軍
17.5.12
44
防衛課

昭和十七年
17.5.13
第21師團

生

陸軍大臣
東條英機
印

逃亡之原因大略報告

一 逃亡之日日時

昭和十七年二月二十六日二十時四十分頃

二 違犯事項ノ概要

昭和十七年二月二十六日夜師團司令部ハ幹部實設演習

ヲ爲老東嶽(杭州西方六軒)ニ宿營スルニ當リ水人

ハ管理部山崎主計中尉ヨリ馬糧ヲ運搬ヲ命セラル

日十六時頃一回馬糧ヲ運搬シ該地ニ於テ概不一時間馬

糧ヲ分配シ其ノ他連絡ヲシ二十時頃衛兵長早出中尉

指揮スル師團長護衛貨車ニ便乘シ二十時四十分頃師

團長宿舎前ニテ全員敬禮ノ爲下車セシ際夜暗ニ來

シ逃亡シタルモ司令部内ニテ當夜

ハ演習地ニア

ルモノ思ヒ衛兵ト管理部班トハ兵舎ヲ異ニシアリ其ノ儘

過シ翌二十七日夜管理部班ノ歸還ニ伴ヒ逃亡セルコトヲ發

覺ス (証衛兵長早出中尉) 硬米シタルコトヲ知ラス
三原因ト認ムヘキ事項

一 等ニ出入シタルコトアリ逃亡當時司令部ノ幹部ノ大
部ハ演習ノ爲不在ナルヲ窺ヒ遊蕩ヲ思付キ慰安所等
ヲ彷徨中歸隊時期ヲ逸シ遂ニ逃走シタルモノト目心料ス
回動機

幹部大部演習ノ爲不在ナルヲ窺ヒ俄ニ遊蕩ヲ思付慰
安所等ヲ彷徨シ時期ヲ經過シ歸ル時期ヲ逸シ自責又
ハ四罰ヲ恐レテ逃亡シタルモノ如ク他ニ確ナル資料ナシ
又處置及其後ノ狀況

三月二十七日逃亡不在發覺後ト共司令部内ノ搜索一部兵
力ニ依リ杭州市内ノ搜索ヲ實施スルト共憲兵隊ニ搜索
手配ヲ依頼ス

三月二十八日及二十九日及三十日共ニ一部兵力ヲ以テ杭州市内ノ搜索
セルモ發見スルニ至ラス

三 憲兵隊ノ調査及其他ニ依リ判明セル逃走後ニ於ケル狀
況左ノ如シ

イ 二月二十六日夜ハ杭州市内慰安所關白亭ニ立テ寄リタ
ルモ暫次ニシテ同所ヲ出テ市内支那旅館滄州旅館宿
泊ス

ロ 二十七日足取不明ナルモ同夜錢塘江畔芝罘大學内ニ
宿泊翌二十八日錢塘江鉄橋ヲ自動車ニ便乘渡江
シタルコト確實ナリ

ハ 三月六日頃本人蕭山(南岸地區)市内ヲ歩行アリテ元
師團管理部署人タリシ台湾人 發見シタルコト
ヲ十四日頃聽取ス

ニ 以上依リ本人ハ自殺志願敵地投降等ノ機ニ出スルコトナク

杭州周邊地區ヲ彷徨中ト判断セシ憲兵隊及錢塘江
南岸地區警備隊ニ連絡依頼シ搜索繼續中ナルモ未
手懸ヲ得ス

六、責任者ノ處分

管理部長ハ司令部内各雇傭人取扱關係者ニ對シ
之カ取扱ハ兵同様十分其ノ個性ヲ熟知シ一層骨
情ヲ以テ監督指導セシ再ヒ斯ノ如キ事ナキ様嚴
意ヲ與フ又雇傭人ニ對シ右ノ非違ヲ説キ懇々
諭セリ

直接責任者タル管理部長及務掛將校ノ責任ニ就テ檢
討スルニ當リ司令部來馬小隊長ニシテ當時尙演習ニ
參加シアリテ歸隊シテ又事故ノ原因他ノ久爲的介在ナ
シト認め且逃亡後本人ノ行動等ヲ判断スルニ思慮淺キ若
者ノ一時的思想動搖生じた事ヲ認め其ノ原因ハ

七、其他必要ナル事項

- 1. 服裝所持金及携行品
軍衣軍袴冬襦袢同袴下戰帽防雨外套
所持金概シテ十圓内外
- 2. 水籍地及採用前ノ職業家庭狀況

自出前年三月 浪京市水郷區

家庭ハ父ハ姉弟妹六ノ家庭ニシテ父ハ養蚕教師トシテ
家ヲ支ヘ月收百圓内外ナルモ生計豊ナラス

3. 採用後出入シ場所遊興程度

外出ハ常ニ單獨ヲ選ビ主トシテ映画及支那飲食店ニ
出入シ其ノ期間慰安所等ニ三四回出入シアリ

4. 本人ノ性行

温順ニシテ明朗ナルモ幾分意志薄弱ナル所アリ